

はじめに

静岡市では一人ひとりのお子さんが自然に読書に親しむことができるように、『静岡市子ども読書活動推進計画』を策定し、計画的に事業を進めているところです。

その具体的な取り組みのひとつとして、ブックリストの作成・改訂を掲げ、図書館職員がお子さんの年齢に合ったお薦めする本を選定し紹介することを目的として、平成 19 年度には『このほんばーった絵本編』を、また、21 年度には『このほんばーった読み物編』を発行してきました。今回は、その第3弾として、『このほんばーった赤ちゃん編』として、赤ちゃん絵本を専門に選定いたしました。

静岡市では、市内全域でブックスタート事業を実施してから6年が経過しました。その間、初めて赤ちゃんが会う絵本を手渡すことで、乳児期から本にふれあう機会を提供してきました。また、各図書館で開催している、乳幼児向けのおはなし会「おはなしコアラ」では、回を重ねるごとに参加人数が増え、その盛況ぶりに驚いています。

図書館では、これらの事業を通し、親子の笑顔を見るにつけ、育児には絵本の読み聞かせが有効だということを実感しています。ぜひ、赤ちゃんと過ごす幸せな時間を作ってください。そして、この冊子が多くの絵本の中から、みなさんが選ぶ際の手助けになれば幸いです。

長い読書人生の入り口に立った子どもたちに、読書が一生の友となるよう願っています。

平成 23 年 10 月

静岡市立中央図書館
館長 松本 泰典